

エコが千代田の自慢です!



しー いー えす 通信

Vol.10 2023 春号

CESエコフェア2022を 開催しました

千代田のエコを推進しよう!



本イベントは2022年12月17日(土)に、千代田区役所1F区民ホールにて千代田区内の大学、各種団体、企業がパネル展示やワークショップを通して、地球温暖化対策推進や環境意識の啓発を行い、区民や事業者など多くの人々と「住み、働く人々が協力し合う環境にやさしいまち」を作っていくことを目指して開催しました。

「2050ゼロカーボンちよだ」と「千代田区キャンパスコンソ※」の推進に貢献

今回は特に、2050年までに区内の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「2050ゼロカーボンちよだ」の実現に向けた施策に取り組む千代田区と、「千代田区キャンパスコンソ」事業推進に微力ながらの貢献を掲げ、オープニングでは、樋口千代田区長から、開会に際してのご挨拶と各ブースへのエールをいただきました。ご来場の方々は、久々の開催を待



ちかねたように次々と会場へ入って行かれました。

場内の盛りだくさんの企画に、ご高齢の方から小さなお子さんまで、とても熱心にそして楽しそうに満喫され、2023年の開催希望もいただき、3年ぶりのイベント「CESエコフェア2022」は無事に終了しました。



左上:「空いたペットボトルを使った人命救助の訓練の体験」カトー折り研究所

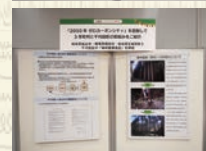
右上:「tomattECO,tabetECO〜とまってこたべてこ〜」ホテルウィング・テンザホテル



左:「残り毛糸でクリスマスオーナメント」ひつじの会



左下:「世界遺産屋久島よりWEB配信」専修大学商学部
右下:「サーキュラーファッションショー」共立女子大学被服意匠研究室



CES会員有志による、「カーボンニュートラル再生エネルギー」や「森林整備協定」の資料とパネルの展示説明



上左:「目指せ! SDGs リーダー」法政大学人間環境学部金藤研究会
上右:「自分だけのハープ石鹸作り」大妻女子大学環境クラブ SOW
下左:「アップサイクル・モケモケキーホルダーを作ろう」共立女子大学被服意匠研究室
下右:「間伐材マークの《かんぱりん》応援団」大妻女子大学ライフデザイン学科環境教育研究所



「紙バックリサイクルとフードドライブ」
左:コアレックス信栄(株)/コアレックス三栄(株)
右:千代田清掃事務所

「CES子供服の交流会」

※「千代田区キャンパスコンソ」

「千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム」のことで、千代田区内の徒歩圏にキャンパスを有する5大学(大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部、共立女子大学・共立女子短期大学、東京家政学院大学、二松学舎大学、法政大学)が2018年4月に設立した共同事業体です。千代田区や地域産業界(千代田区商工業連合会)などと連携・協力し、徒歩圏(近接地)のメリットを生かし大学間連携と地域発展の推進を図ることを目的として、さまざまな連携事業を展開しています。

2023年2月14日「CES環境講演会」を開催しました。

講演テーマ「わがまちは、なぜ木造にしないのか」

元東海大学教授 杉本 洋文氏

2023年2月14日(火)、元東海大学教授の杉本洋文氏を講師に招いて「わがまちは、なぜ木造にしないのか」と題して、弊会の大森理事のご尽力により、明治大学グローバルフロントにて開催しました。2時間におよぶ講演のエッセンスを、以下にてお伝えします。

公共建築などにおいて、木材利用を促進する社会的背景には大きな理由が2つあります。

1つ目は、日本の森林割合は7割弱と世界でもTOP3に入りますが国内で利用する材木量の約7割は輸入であり、その結果、国内林業が衰退し国内の森林環境が荒廃、再造林ができず森林循環が回っていないのが現状。国としては国産材自給率50%を目標とすることで「木なりわいの循環」の向上を目指すというもの。

2つ目は、公共施設の木造化を進めることで環境負荷のさらなる低減を目指すというもの。具体的には、木材は炭素蓄積量・エネルギー集約的資材の代替、化石燃料の利用削減という3つの面で、地球温暖化防止に貢献が可能です。

もちろん木造建築にも、音環境・温熱環境等のクリアしなければならない課題もありますが、災害に対する安全性・耐久性というメリットもあります。

これら功罪を織り交ぜ、国は公共建築への木材利用へと舵を切りました。今後は都市の中に、木造建築を増やして行くことが必要であり、重要になります。

さて、みなさんのお住まいの自治体の公共建築の木材利用は進んでいるのでしょうか？

予定時間が不足するほど活発に質問が出るなど、本講演は盛況のうち閉幕しました。



質問するNPO江戸城天守を再建する会の木川理事



質問する明治大学の武藤さん



杉本氏が設計を手掛けた奈良県五條市上野公園総合体育館スター・アリーナ 内部空間

熱弁をふるう杉本氏

(なお、講演の動画を、千代田エコシステム推進協議会のホームページにアップする予定ですのでご期待ください。)

2022年度中にCES監査終了し、認証取得された、(株)大同様にEMS(環境マネジメントシステム)導入について、お話しをお伺いいたしました。

EMSの導入を社内決定後に知らされ、そこからEMSを一から勉強することとなり苦労しましたが、監査担当者の方は、いやな顔もせず弊社の実態に合わせたシステムを提案してくれたので助かりました。

このビルは、室内に誰もいないと自動で消灯するようなインテリジェントビルなので、システム構築は完了しましたが、社員が自助努力できる部分が少なく(笑)。ですが、昨年度の光熱費などの、利用実績がなく削減目標も立てられず、EMSの本格稼働は来年からと思っています。



終始、笑顔でお話いただいた導入ご担当者の加納さん

また弊社が、茨城県常総市で経営する、ゴルフ場のクラブハウスの建て替えを数年内に予定しています。その際にはEMSを活用して、電力削減ができればいいですね。高圧で契約している電気料金は、現在1.5倍程度のアップとなっており、エアコンの設定温度を調節するなどなんとか対応している状況です。



2022年1月に竣工・入居、千代田区永田町の株式会社大同、新本社ビル



CES認証書を前に村山社長と加納さん (2023年2月上旬)

MEMBER'S
VOICE

CES会員の皆さまよりの声

このコーナーでは、環境への取り組みや日々感じたことなど、エコに関する皆さまの声を掲載してまいります。

VOICE
01エネルギーの力を活かし、
社会課題の解決を目指す

CES企業賛助会員 株式会社エナリス

千代田区神田駿河台に本社を構える、KDDIグループの株式会社エナリスです。「人とエネルギーの新しい関係を創造し、豊かな未来社会を実現する」という企業理念のもと、法人のお客さま向けにエネルギー事業を展開しています。

千代田区に所在する企業や教育機関の皆さまも、脱炭素に取り組まれている方が多いと思いますが、CO₂排出量の多くはエネルギーに由来しています。弊社では、エネルギーに関する脱炭素ソリューションを包括的にご提供しています。ぜひお気軽にご相談ください。

また、社会貢献活動の一環として、エネルギーや多様性をテーマにした出前授業を行っています。子どもたちの成長に少しでもお役に立てる授業を実施したいと考えていますので、ご興味がある方はぜひご連絡ください。

<https://www.eneres.co.jp/>



盲導犬ユーザーである当社社員が行う多様性をテーマにした出前授業のワンシーン

VOICE
02SDGs・環境保全活動の
推進について

CES企業賛助会員／

ハイディールパートナーズ株式会社 代表 赤羽 貴宏

私たちハイディールパートナーズ(株)は、企業や株主様の重要な決断を支えるM&Aの専門家として、後継者不在の中小企業様の事業承継を支援しております。

全国に約380万社存在する日本の中堅・中小企業のうち3分の1は後継者不在と言われる今、後継者不在企業の廃業防止は中小企業エコシステムを支える重要な問題であると考え、ご支援に取り組んでおります。

また、テレワークの仕組化による電力削減の計画的な活動実施や、弊社の経験を生かしたクライアント企業様への環境面での改善取組推進の支援を行なっております。

今後も、弊社として環境問題や社会問題の解決に向けた取り組みを加速すべく、引き続き尽力してまいります。



問い合わせ先

ハイディールパートナーズ株式会社

東京都千代田区麹町四丁目5番20号 KSビル7階

TEL 03-5877-4225 FAX 03-6740-1445

<https://hideal-p.com/>

2023年度 開催予定のイベントおよび事業のご案内



開催日程	イベント・事業	内 容
6月17日	ちよだ環境まつり	●区が主催する環境月間のイベントとして開催するもので、ブースを出展予定。
9月～10月 予定	環境配慮宣言事業	●今年も区内の環境活動に注力している事業者さんを応援する活動を行う予定であります。
11月～12月 予定	CESエコフェア	●今年も区内の環境活動に注力している団体さんを中心に出店してもらう予定であります。

※イベントの予定・詳細は決まり次第HPにてご案内します。イベントへの参加、または、サポートボランティアとしてスタッフ体験をご希望の方は、HPで詳細をご覧いただくか、お電話にてお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加、お待ちしております。

理事長
だより

「CESエコフェア2022」に屋久島から参加

一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 理事長 渡辺 達朗
専修大学商学部 教授

昨年12月17日(土)、千代田エコシステム推進協議会主催で「CESエコフェア2022」が、<2050年“持続可能なまちゼロカーボンちよだ”を目指して>をテーマに開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、対面でのイベントが実施できない状態が続きましたが、何とか無事に区役所区民ホールで実施することができました。

ただ、当日は鹿児島県立屋久島高校の「環境フェスタ」に参加することが決まっていた。この間、私のゼミナールでは、屋久島高校の生徒さんたちと食品ロス削減の取り組みでコラボレーションしており、お互いの活動を報告し合うためです。

そこで、屋久島の会場と千代田区役所の会場をリモート会議をつないで、両校の食品ロス削減などの環境活動を紹介し、「CESエコフェア2022」に来場の皆さんと交流させていただきました。

技術的な課題も残りましたが、こうした新たな企画にも取り組んでいきたいと考えています。



令和5年度 CES 環境活動普及助成制度事業について

平成29年に開始した当事業は令和5年度も継続予定です。改めて概略をお伝えします。地球温暖化やSDGsを踏まえた、個人および団体が行う環境分野の意識向上のための集まり、学習会、講習会、講座、イベント、体験学習などの活動に対して行う助成制度です。

活動に係る助成は1団体1件とし、申請年度内における所要経費が5万円以上で当協議会にて審査、承認したのに対し、所要経費の7割(10万円上限)を予定しています。令和5年度の事業の内容が確定しましたら、当協議会のホームページにて掲示しますのでご期待ください。

千代田区キャンパスコンソ関連情報

千代田区キャンパスコンソとして、2023年1月23日(月)に千代田区長と学長等との懇談会が開催されました。席上、千代田区のカーボンニュートラルに向けた区と大学の連携の可能性について議論がなされ、双方が現状

行っている取り組みを披露することで相互理解が深まりました。これをスタートとしてさらなる連携が期待されています。当協議会としても今後の千代田区の環境活動に足並みを揃えたイベントを企画していく予定です。

編集後記

コロナの影響もあり3年ぶりに対面で開催した「CESエコフェア2022」。例年は千代田区との共催でしたが今回は当会単独での実施となりました。当然ですが会場手配から出展団体との打合せなどを、独力でこなさなければならず当会の運営能力が試されましたが、無事にやり終えることができました。

これも携わっていただいた皆様のご協力の賜物であり、この機会にお礼申し上げます。

また、GW明けより新型コロナを「2類相当」からインフルエンザと同じ「5類」へ移行する方針を政府は決定。これから焦らず本来の生活を取り戻せればと思います。

そして、この3月末をもって、長年に亘り当会の業務を牽引しておりました先輩職員が、退職されることとなりました。これからも、お元気でいらしてください。いろいろとご指導ありがとうございました。(I)



Vol.10 2023 春号

発行・編集：(一社)千代田エコシステム推進協議会

発行日：2023年3月15日

(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所：〒102-8688

千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階

電話：03-5211-5085 FAX：03-3221-3405

メール：info@chiyoda-ces.jp

URL：https://chiyoda-ces.jp

